

<色別表示の見方>

■:目標達成(網掛け)

□:目標未達成

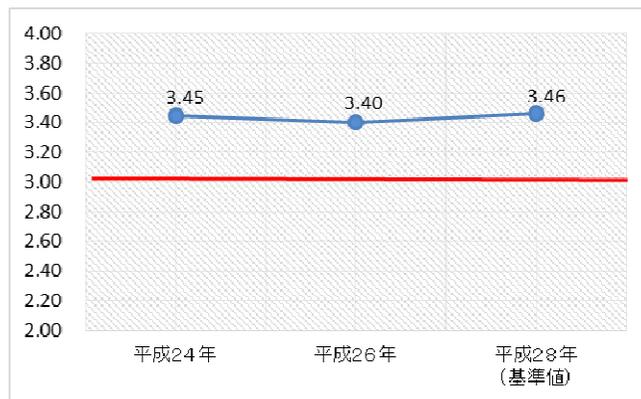
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|------------|---|----|-----------------|-------------|----------------------|------|---|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 20 | | | 長野新幹線の延伸 (長野ー金沢間の開業) | | 未開業 [H22] | 開業 | 平成27年 3月14日 開業 | 達成 | 平成27年3月に金沢まで延伸開業され、目標を達成することができた。 | 北陸新幹線の全線開通は、首都圏や関西圏からの移動時間の短縮や、交流可能圏域の拡大が期待されることから、金沢・敦賀間の早期完成と大阪までの早期整備を促進します。 |
| 21 | 211 | 高速交通ネットワーク | 中部横断自動車道佐久南インターチェンジー八千穂インターチェンジ(仮称)間の開通 | | 未開通 [H22] | 開通 | 平成29年度の開通 | 未達成 | 建設促進の活動に取り組んできたが、目標とする平成28年度での開通は達成できなかった。この区間については、平成29年度中の開通予定と国土交通省より公表され、目標達成の目途がたつた。 | 経済活性化や救命救急医療への貢献、災害発生時の緊急輸送路としての機能などが期待される中部横断自動車道の早期全線開通実現に向けた要望活動を推進します。 |
| 22 | | | 中部横断自動車道八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間の整備計画格上げ | | 基本計画区間 [H22] | 整備計画区間 | 未定 | 未達成 | 建設促進の活動に取り組んできたが、目標を達成することができなかった。国土交通省において、整備計画格上げまでの手続きで、地元調整等に時間を要していることが考えられる。 | |

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：高速交通ネットワーク

- 高速自動車道の整備促進
- 北陸新幹線の延伸促進
- 松本・佐久間の地域高規格道路建設促進
- 佐久平駅やインターチェンジの利用促進

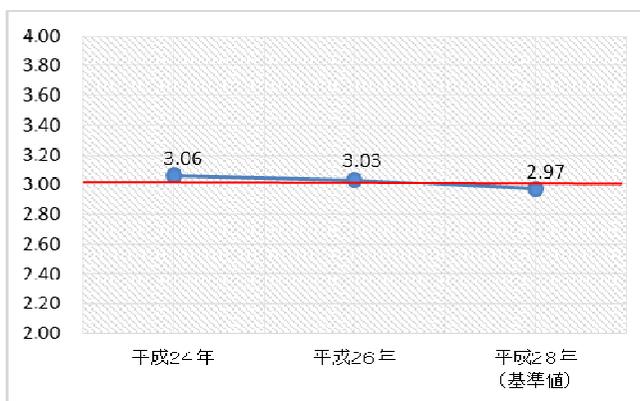


| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) |
|---|-----------------------------|
| 満足度指数は、ほぼ横ばいであるが、高い値を維持している。これは、北陸新幹線の金沢延伸、中部横断自動車道の利用増加などによるものと考えられる。今後は、高規格幹線道路の整備等を進めることにより、さらなる満足度の上昇を目指す。目標値は、平成29年度中に中部横断自動車道が(仮称)八千穂ICまで開通予定であり、交通の利便性も高まることから+0.02を見込み、3.48とする。 | 3.48 |
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部横断自動車道を最大限に活用し、交流の拡大や産業の振興に資する取組を推進します。 ・ 県中央部を東西に結び、文化の交流や地域経済の発展に寄与する松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を促進します。 ・ 北陸新幹線佐久平駅の乗降客の増加と、さらなる利便性の向上に向けた取組を推進します。 | |

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 | |
|-----|-------|------------|---------------|-----|------------------|-------------|----------|------|---|--|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | | |
| 23 | 212 | 地域交通ネットワーク | 幹線道路整備延長 | m | 4,731 [H22] | 8,231 | 10,419 | 達成 | 計画していた路線の整備が完了し、目標を達成することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国道142号佐久南インターチェンジ以西の4車線化、国道141号浅蓼大橋の4車線化、中佐都バイパスや県道上小田切臼田停車場線アクセス道路などの国道道の整備を促進します。 ・東西幹線第3期工区や長者原地区の道路のポトルネックの解消など、地域幹線道路の整備を推進します。 | |
| 24 | | | 都市計画道路整備延長 | m | 59,527 [H22] | 63,377 | 68,262 | 達成 | | | 中部横断自動車道の整備が進んだことにより、目標を達成することができた。 |
| 25 | | | アダプトシステム管理箇所数 | 箇所 | 3 [H22] | 19 | 18 | 未達成 | 建設業者や地元区等を中心にアダプトシステム事業を呼び掛けたことにより、参加団体数は増加したものの、目標値には1団体達しなかった。 | | 道路施設の管理について、アダプトシステムの普及を図ります。 |
| 26 | | | 公共交通延べ利用者数 | 人/年 | 113,538 [H22] | 125,000 | 112,079 | 未達成 | 平成28年4月のダイヤ改正により、利用者ニーズにあった増便を行うことで、利用者の減少に歯止めをかけることはできたが、目標を達成することはできなかった。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能で効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築を推進します。 ・市民の身近な交通手段であるバスや鉄道などの相互の接続性の向上を図り、利用を促進します。 |

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：地域交通ネットワーク

- 地域幹線道路網の整備
- 生活道路の整備充実
- 道路の計画的な維持管理
- 地域公共交通の維持・見直し
- 広域的公共交通機能の充実

| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.00 |
|--|-------------------------------------|--|
| <p>満足度指数は、下降傾向となっている。</p> <p>今後は、効果的な地域幹線道路網の整備や、計画的な道路の維持管理等を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、まずはこの5年間で0.03ポイント回復させ、平均値である3.00とする。</p> | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全確保やユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備を推進します。 ・危険性や緊急性の高い路線から計画的な拡幅整備を推進するとともに、路面性状調査に基づき計画的な舗装修繕を行い、維持管理を図ります。 ・橋梁は、定期的な点検により現状を把握し、維持補修や整備を計画的に推進します。 ・地域間をつなぐ民間事業者による生活路線バスについて、関係自治体と連携し、維持存続に努めます。 |

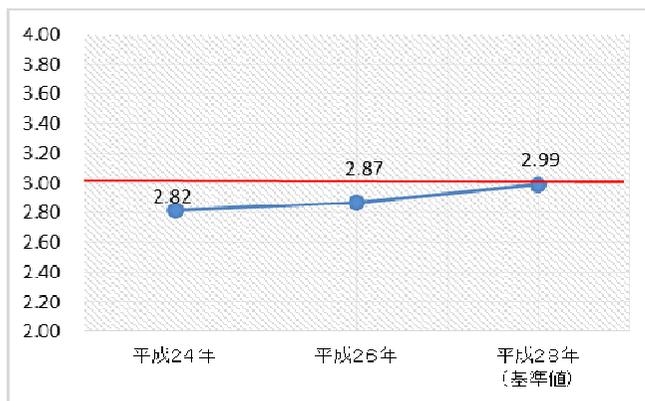
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|------|--------|----|----------------|-------------|----------|------|--|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 27 | 221 | 土地利用 | 宅地面積 | ha | 2,337 [H21] | 2,492 | 2,422 | 未達成 | 宅地への転換は進んでいるものの、経済情勢や人口減少などの影響により、目標値を達成することができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジ周辺は産業振興のための土地利用を図るなど、市域全体の活性化に寄与する適切な土地利用の誘導を推進します。 ・工業用地や商業・業務系用地は、都市的土地利用と自然的・農業的土地利用との調和と適正配置に配慮しつつ、産業の活性化を促進する土地利用を推進します。 |

施策名：土地利用

- 秩序ある土地利用の推進
- バランス良い都市構造の再構築
- 土地需要の調整と適正な土地利用の誘導
- 国土調査の推進

市民アンケート満足度指数の推移

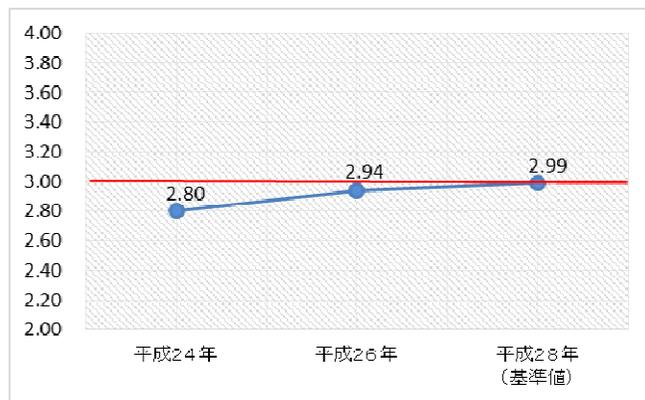


| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.00 |
|---|---|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、H24からの4年間で0.17ポイント上昇している。</p> <p>第二次国土利用計画(佐久市計画)による適切な土地利用を推進することとしているが、その効果を得るには時間がかかるため、平均値である3.00を目標値とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・第二次国土利用計画(佐久市計画)や各種土地利用に関する計画に沿った秩序ある土地利用を推進します。 ・人口減少を踏まえ、それぞれの地域の特徴を生かした機能集約型の土地利用を推進し、各拠点の活性化を図ります。 ・各地域の特徴を生かし、相乗効果による発展を促進するため、地域間を結ぶ道路や公共交通などによる円滑なネットワークの構築を図る土地利用を推進します。 ・無秩序な農地の転用を抑制し、優良農地の保全に努めます。 ・関係機関と連携し、国土調査を着実に推進します。 | |

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-----|-----------------|----|-----------|-------------|----------|------|---|--------------------------------------|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 28 | 222 | 市街地 | 跡部臼田線・龍岡城駅線の整備率 | % | 0.4 [H22] | 100 | 78.24 | 未達成 | 龍岡城駅線は、H27に完成したものの、跡部臼田線は、用地取得の難航により、目標達成とならなかった。 | 居住機能・都市機能の適切な誘導により、魅力ある市街地の形成を推進します。 |

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：市街地

- 良好な市街地の形成

| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.04 |
|--|--|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、平均点を前に上昇幅は小さくなっている。立地適正化計画に基づく居住機能と都市機能の適切な誘導や樋橋地区における土地区画整理事業による市街地整備などにより、満足度指数の上昇を目指す。上昇幅は、平均値に近づくにつれ小さくなっていることから、5年間で0.05の上昇を目標とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域や用途地域の指定に基づき、無秩序な市街地の拡散を抑制するなど、適正な土地利用を推進します。 ・計画的な市街地整備を推進するため、民間開発の適切な誘導を図ります。 ・秩序ある市街地整備のため、土地区画整理事業の導入を推進します。 ・樋橋地区においては、佐久平駅周辺や岩村田地区と連携し、本市の中心市街地として整備を図るとともに、佐久広域圏の拠点地域として都市機能を高める土地利用を推進し、地域間交流の中心地として魅力の向上を図ります。 ・佐久臼田インターチェンジの周辺においては、地域の良好な環境の形成や保持のため、特定用途制限地域の指定に向けた取組を推進します。 | |

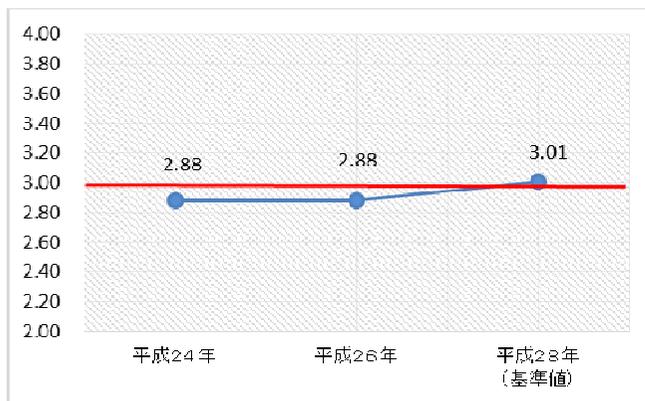
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-------|--------------|----|--------------|-------------|----------|------|---|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 29 | 223 | 住宅・宅地 | 住宅マスタープランの策定 | | 未策定 [H22] | 策定 | 部分的策定 | 未達成 | 住宅マスタープランに関わる各種計画等の見直しを行い、佐久市公営住宅長寿命化計画や、佐久市無居住家屋等対策計画の策定を優先したことにより、目標を達成することができなかった。 | 佐久市公営住宅長寿命化計画に基づき適切な住宅戸数を検討し、計画的な整備と管理を推進します。 |

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：住宅・宅地

- 総合的な住宅施策の方針策定
- 公営住宅の整備と管理
- 住宅・宅地の適正供給
- 質が高く安全な住環境の整備や空き家対策の充実
- 耐震改修の促進



| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.01 |
|---|-----------------------------|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平成28年に0.12上昇したが、人口が減少して行くことが見込まれる中、公営住宅については財政状況も勘案し建替えの抑制や統廃合等を進める必要がある。また、民間住宅については空き家の増加が予測されており、それに伴い政府も新築住宅の優遇政策から中古住宅の流通促進へと政策をシフトする見込みである。こうしたことから、満足度は下降傾向が見込まれるものの、公営住宅の長寿命化施策や、空家等の調査に基づく適正管理・利用拡大などの抑制促進、住環境整備の支援策の推進により満足度は現状維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅関連事業者との連携による情報提供により、空き家の市場流通を促進します。 ・特定空家等の発生予防のため、所有者に対する情報の提供や助言などにより、適切な管理を促進します。 ・良好な景観と住環境の形成を図るため、住民主体の住民協定などの締結を促進します。 ・昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建て住宅の耐震改修を促進します。 | | |

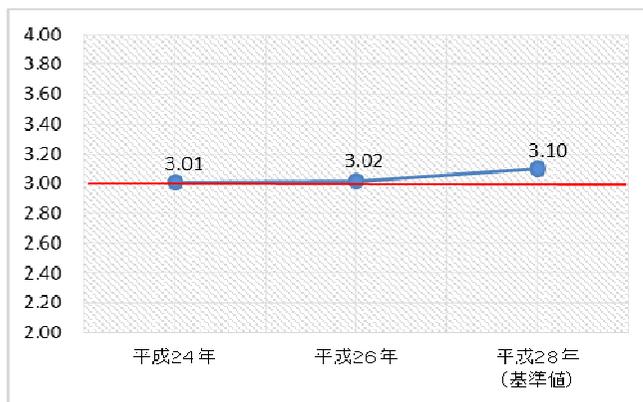
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|--------------|---------|-----|-----------|-------------|----------|------|--|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 30 | 231 | 高度情報通信ネットワーク | 電子申請の件数 | 件/年 | 289 [H22] | 500 | 924 | 達成 | 佐久市結婚支援事業やパパママ教室、離乳食教室といった若い世代が参加する事業等で電子申請を導入したことにより、目標を達成することができた。 | 市民生活の利便性と行政サービスの質の向上を図るため、ながの電子申請・届出システム利用者の増加を図るとともに、自治体クラウドへの参加を検討します。 |

施策名：高度情報通信ネットワーク

- 地域情報化の推進
- 情報提供・情報発信の充実
- 行政・市民サービスの情報化
- 情報セキュリティ管理

市民アンケート満足度指数の推移



| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.20 |
|--|---|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も、情報通信ネットワークを活用した住民サービスは、高度化かつ多様化が進むと予想されることから、効果的に情報技術を活用したサービスを導入することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去4年間で0.09上昇していることから、年+0.02を見込み3.20とする。</p> | <p>・市民生活の利便性と行政サービスの質の向上を図るため、ICTの利活用を推進します。</p> <p>・観光や防災の拠点などにおける来訪者や住民の情報収集などの利便性を高めるため、公衆無線LANの整備を推進します。</p> <p>・佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平と連携し、即時性の高い情報を取得できる環境整備を推進するとともに、佐久ケーブルテレビへの加入を促進します。</p> <p>・マイナンバー制度の運用開始などを踏まえ、情報流出防止や外部からの不正アクセスを防御する情報ネットワークの整備と充実を図り、情報資産の安全を確保します。</p> | |

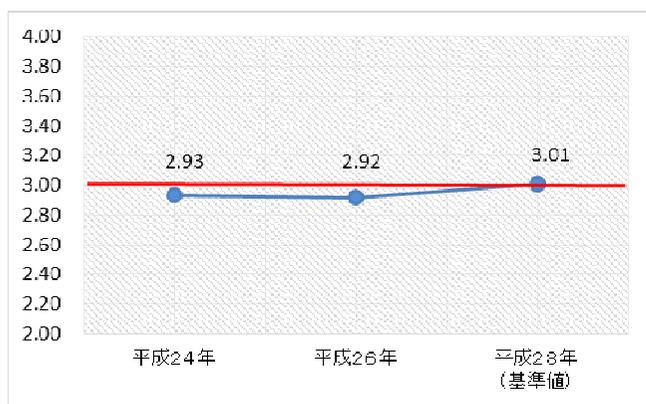
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|--------|-----|-----------|------|-----------|-------------|----------|------|---|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 31 | 311 農業 | 農業 | 認定農業者数 | 経営体 | 268 [H22] | 310 | 309 | 未達成 | 認定農業者に対する優遇措置の拡大等により、概ね目標どおり認定農業者は増加した。 | 各地域の人・農地プランに基づき、中心的な担い手への農地の集積、経営規模の拡大、営農組織化など、地域の特徴を生かした農業経営基盤の確立を促進します |
| 32 | | | 農業アシスタント数 | 人 | 20 [H22] | 70 | 101 | 達成 | 広報誌等による周知の結果、新規受講者、リピーターとも堅調に推移し、アシスタント数は目標値以上に養成された。 | U・J・Iターンなどの新規就農者、農業後継者の確保・育成を図るほか、就農による定住を促進するための支援体制の充実を図ります。 |
| 33 | | | 農業法人数 | 法人 | 16 [H22] | 20 | 24 | 達成 | 法人化のメリットの周知等により、認定農業者を中心に経営規模拡大、安定のための法人化の必要性が浸透しつつあり、目標を達成することができた。 | 各地域の人・農地プランに基づき、中心的な担い手への農地の集積、経営規模の拡大、営農組織化など、地域の特徴を生かした農業経営基盤の確立を促進します |
| 34 | | | 農畜産物産出額 | 億円/年 | 108 [H18] | 110 | データ入手不可能 | 評価不能 | (本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。) | ・トップセールスを始めとする様々な取組により、農産物の販路拡大・消費拡大を推進します。 ・加工・販売施設整備に対する支援などにより畜産経営の安定を図るとともに、飼料用イネや堆肥の活用などによる耕畜連携のサイクルの確立を図ります。 |

施策名：農業

- 農業経営構造の確立
- 優良農地の保全
- 農業生産の振興と食料の安定供給の確保
- 農業・農村の多面的機能（食文化の形成・伝承など）の向上
- 農業基盤（水路や農道）整備の推進
- 農商工連携による地産地消の推進

市民アンケート満足度指数の推移



| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.11 |
|--|---|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平成28年に0.09上昇している。</p> <p>今後は、新農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の強化、農地の利用集積、安心安全な食料供給、農村の振興等に積極的に取り組み、農家や市民の満足度の向上を目指す。</p> <p>目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.11とする。</p> | <p>・農地中間管理事業の活用などにより、貸し手・借り手間の農地の流動化を促進し、農地の利用集積と作物ごとの団地化・集約化を進めます。</p> <p>・荒廃農地対策として、補助事業の活用などにより、荒廃農地の再生・利用を促進します。</p> <p>・佐久市のブランド野菜や産地の育成を図るとともに、農業用施設の整備などを支援します。</p> <p>・佐久市の風土や特徴を生かした新たな作物、栽培方法を検証し、農産物のブランド化や米の生産調整を推進します。</p> <p>・学校給食での食育と地産地消を図るため、市内で生産された農産物を小中学校に提供する学校給食応援団の活動を推進します。</p> | |

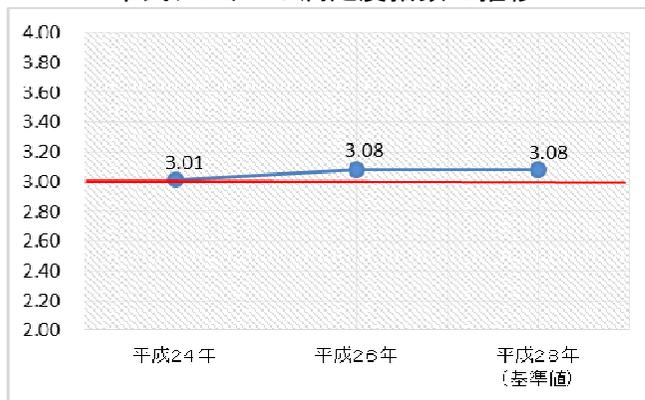
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-----|--------|-----|-----------|-------------|----------|------|---|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 35 | 312 | 水産業 | 佐久鯉出荷量 | t/年 | 110 [H22] | 115 | 80 | 未達成 | 鯉の消費の拡大を図るため、パンフレットの作成や新たな食べ方の提案など、新しい取組を始めているものの、日常的に鯉を食べる人は年々減少しており、目標を達成することができなかった。 | 佐久鯉のブランド力の強化に向けた関係者の意見集約を図るとともに、鯉の持つ栄養価の高さなどの特徴を生かした機能性食品としての高付加価値化や、千曲川の清流で育つなどのイメージを生かしたブランド力の強化を促進します。 |

施策名：水産業

- 内水面漁業（淡水での漁業）の振興
- 佐久鯉のブランド化促進及び商業・観光業と連携した水産業の多面的な振興

市民アンケート満足度指数の推移



| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.18 |
|---|---|------|
| 満足度指数は、横ばいである。今後は、これまでの内水面漁業振興に加え、平成29年度から鮎に対する振興策を着実に進めていくことにより満足度指数の上昇を目指す。目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.18とする。 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場などと連携し、信州サーモンなどの新魚種の生産拡大を促進します。 ・地域文化の継承につながるフナの水田養殖について、農業との連携を促進するとともに、担い手の確保、持続可能な生産流通体制の構築を図ります。 ・市ホームページなどの多様なメディアの活用により佐久鯉、シナノユキマス、信州サーモン、ニジマスなどのPRを積極的に行い、消費拡大を図ります。 | |

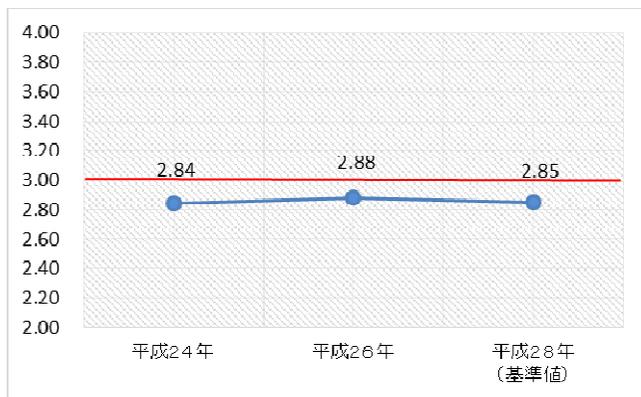
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-----|-------------|------|-----------|-------------|----------|------|---|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 36 | 313 | 林業 | 森林整備面積(間伐分) | ha/年 | 610 [H22] | 780 | 75 | 未達成 | 当初、間伐を計画していた森林について、県の指導により、成熟期を迎えた森林については間伐から主伐(皆伐)へ移行されたため、目標を達成することができなかった。 | 林道の整備や森林施業の共同化・機械化を促進し、生産性の向上・森林整備の効率化を図ります。 |

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：林業

- 林業生産の振興
- 森林の保全
- 森林の多面的機能(健康づくりや観光、レクリエーションなど)の活用



| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 2.90 |
|--|--|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平均値よりも低い値で、横ばい傾向である。素材生産が増加しているにもかかわらずこのような傾向にあるのは、木材利用量に対する市民の関心が薄くなっていることによるものと考えられる。</p> <p>今後は、地元産材であるカラマツなどを公共施設などに活用し、地元産材の利用の促進や、多くの人に木の温もりを身近で感じてもらう関心を高めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、年+0.01を見込み2.90とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業事業者などの経営体制の強化を図り、林業従事者の育成・確保、就業環境の向上などを促進します。 ・ 地元産材であるカラマツ材などの公共施設・住宅などへの積極的な活用を促進します。 ・ 保安林改良事業の活用や、適正な間伐・枝打ちなどにより、針葉樹と広葉樹が適度に混交した多様な森林づくりを推進します。 ・ 森林病虫害、有害鳥獣などによる森林被害の予防・防止を適切に行い、健全な森林の保全を図ります。 ・ 治山・治水事業の計画的な導入により、災害に強い森林の維持を図ります。 ・ 森林セラピーやレクリエーション事業との連携により、観光客との交流を促進するなど、交流人口の増加を図ります。 | |

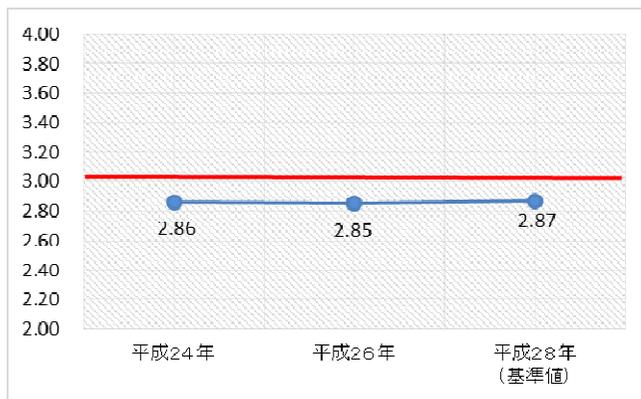
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|----------|--------|------|-------------|-------------|----------------|--------|---|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 37 | 321 | 商業・サービス業 | 商品販売額 | 億円/年 | 1,994 [H19] | 2,100 | 公表前直近H26 1,785 | 未達成見込み | 経済センサの実施時期により、平成27、28の実績値は現在公表されていない。平成20年のリーマンショックなどの影響により、販売額は大きく減少した後回復基調にある。空き店舗対策や、地域資源を生かした商品の開発への支援など行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。(H27商業統計調査は、H28経済センサ実施に伴い中止。H27実績は、H28経済センサ(H29.12公表予定)で把握可能) | 販路の拡大、積極的なPR、ネットワークの構築に努め、集客力の向上と販売力の強化を支援します。 |

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：商業・サービス業

- 商業経営の体質強化
- 魅力ある商店街の形成
- 商業立地のバランスと利便性の確保
- 流通・サービス業の振興
- 新たな商品開発とブランド化の促進

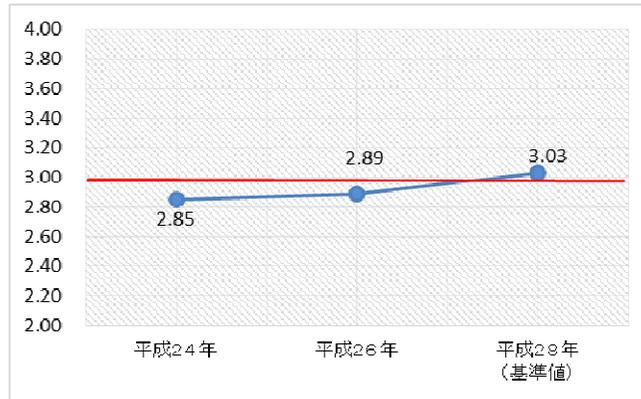


| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.00 |
|--|-----------------------------|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平均の3.00を下回り、ほぼ横ばいである。今後は、中心市街地活性化基本計画策定による商業振興を図ることにより、平均値である3.00を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業者への経営支援のため、中小企業者の資金需要に対して、迅速に対応します。 ・ 社会経済情勢の変化に柔軟に対応し、商店経営の近代化を促進するため、経営者・後継者育成事業の強化に努めます。 ・ 商店会組織の機能強化を促進するとともに、街おこし事業、活性化事業を支援します。 ・ 商店街の魅力を高めるため、空き店舗の解消と環境整備を支援します。 ・ 佐久市中心市街地活性化基本計画に基づき、市民、事業者など一体となって、にぎわいと魅力がある中心市街地の形成を図ります。 ・ 既存商店街と地域の活性化に配慮した商業集積を図ります。 ・ 「健康長寿」などの地域の特徴を生かした新たな商品開発を支援することで、魅力ある商品のブランド化を推進します。 | | |

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-----|------------|------|-----------|-------------|--------------|--------|---|---|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 38 | 331 | 観光 | 市内への延べ入込客数 | 万人/年 | 162 [H22] | 190 | 公表前直近H27 157 | 未達成見込み | 平成28年度の実績値の公表はまだされていない。 新たなイベントによる仕掛けや観光地を掲載したパンフレット「信州佐久」を市内外のイベントで配布したり、関東圏などに配置し誘客を図ったが、目標の達成は難しいと見込まれる。軽井沢で起きたバス事故によりバスツアーの客離れが進んだ事なども要因として考えられるほか人口減により観光地への入込も横ばい傾向となっている。 | ・佐久バルーンフェスティバルや望月駒の里草競馬大会などの各種イベントの充実を図るとともに、地域が主体となったイベント運営を促進します。 ・ニューツーリズムや地域資源である山、川、渓谷、文化、街道、スポーツなどを複合的に活用し、中長期的に期間滞在する体験型・着地型観光を推進します。 |

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：観光

- 観光振興施策の推進
- 観光基盤の整備
- 観光の情報発信
- 農林水産業や商工業との連携による体験型観光や土産品の開発の促進

| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.15 |
|--|-----------------------------|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成28年には平均である3.00を超えた。これは、関係都市などのイベント参加や新聞雑誌などの観光誘客宣伝などを強力に進めてきたことによるものと考えられる。今後は、インターネットなどによる情報発信や、広域連携を図ることによる魅力の向上を進めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、過去の伸び率から+0.12の伸びを見込み3.15とする。</p> <p>・関係機関と連携し、周辺観光地との周遊コースの構築など、広域観光ルートの創出を図ります。 ・中部横断自動車道の開通を見据え、佐久平スマートインターチェンジに隣接する佐久市温水利用型健康運動施設や佐久南インターチェンジに隣接する佐久南交流拠点施設などを活用したさらなる観光交流を推進します。 ・訪日外国人旅行者数の増加傾向を踏まえ、インバウンド対応ができる観光地づくりについて検討します。 ・観光拠点である平尾山公園、春日温泉などの既存観光施設の整備・充実を図ります。 ・中山道などの歴史・文化遺産をネットワーク化した観光ルートの構築を推進します。 ・映画などの撮影場所の誘致や、撮影を支援する民間主体の組織づくりを進め、誘客や地域活性化に努めます。 ・市内観光施設における観光インフォメーション機能の充実を図ります。</p> | | |

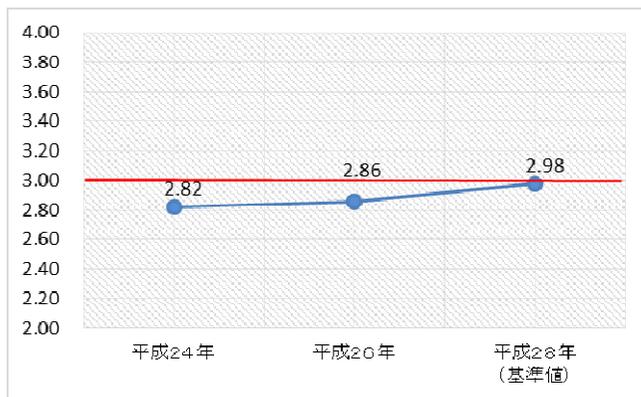
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-----|--------|------|-------------|-------------|----------------|--------|---|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 39 | 341 | 工業 | 製造品出荷額 | 億円/年 | 2,061 [H22] | 2,500 | 公表前直近H26 1,951 | 未達成見込み | <p>経済センサの実施時期により、平成27、28の実績値は現在公表されていない。 平成26年度時点では若干の減少となった。各種補助事業の活用の促進等を行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。 (H27工業統計調査は、H28経済センサ実施に伴い中止。H27実績は、H28経済センサ(H29.12公表予定)で把握可能)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新製品などの開発支援のため、関係機関や大学などとの連携や地域間連携を促進します。 ・「健康長寿」などの地域の特徴を生かした製品の開発や海外を視野に入れた販路の拡大を推進します。 |

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：工業

- ものづくり産業の育成
- 工業基盤の整備と活用
- 企業誘致の推進
- 農業・観光施策との連携、異業種連携、大学との連携の促進
- 高度な技術や能力を持った人材の育成

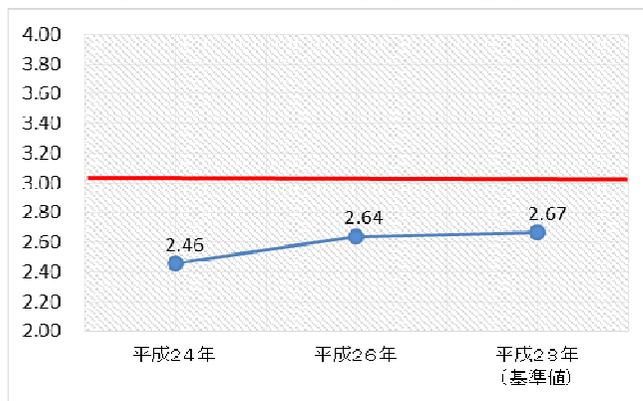


| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 3.10 |
|--|---|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平均値を下回っているが、上昇傾向にある。 今後は、健康長寿産業振興ビジョンに基づく施策展開をすることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.16上昇しており、今後も上昇傾向を持続させるため5年間で+0.12を見込み、3.10とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・商工団体など関係機関と連携し、工業振興の具体的戦略である佐久市健康長寿産業振興ビジョンに基づき工業振興を図ります。 ・市内の経済・雇用を支えるものづくり企業への経営支援事業などの拡充を図ります。 ・高速交通網の整備など本市の優れた立地条件などを生かし、企業が求める立地条件に対応できる工業用地の整備を進めます。 ・本市の優れた立地条件などを広く発信し、企業誘致を推進します。 ・地域の特徴である「健康長寿」を生かした産業の確立のため、佐久市健康長寿産業振興推進協議会において、商工団体や医療、福祉などの関係機関の連携を図ります。 | |

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

| No. | 施策コード | 施策名 | 目標(項目) | 単位 | 目標の推移 | | | | 結果の分析 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容 |
|-----|-------|-------|---------------|-----|--------------|-------------|----------|------|--|--|
| | | | | | 計画策定時の値 | 平成28年度末の目標値 | 平成28年度実績 | 最終評価 | | |
| 40 | 351 | 就労・雇用 | 就職相談会参加者数 | 人/年 | 113 [H22] | 130 | 153 | 達成 | 就職相談会等の開催数を増やし、就職支援員の学校訪問等によりイベントの周知を強化したため、目標を達成することができた。 | 関係機関との連携を図る中で、就職ガイダンスを開催し、求人情報の積極的な収集・提供に努めます。 |
| 41 | | | インターンシップ実施学生数 | 人/年 | 7 [H22] | 15 | 17 | 達成 | 事業所や、学校に事業の周知を行い、受入事業所が増加し、学生のニーズにも対応できたことにより、目標を達成することができた。 | 将来の技術者などの確保のために、就職支援員による企業側への積極的な受入れの呼びかけや受入れに対する支援などにより、インターンシップ事業の促進を図ります。 |

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：就労・雇用

- 雇用機会の確保・創出
- 労働力の確保
- 勤労者福祉の充実

| アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠 | 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数) | 2.80 |
|--|-----------------------------|------|
| 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外) | | |
| <p>満足度指数は、平均値を下回っているものの、上昇傾向にある。今後は、就職相談会や首都圏における企業PR、インターンシップ実施学生に対する支援策などにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.21上昇していることから、今後も上昇を見込み2.80とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致やU・J・Iターン施策の推進などにより、雇用機会の確保を図ります。 ・佐久公共職業安定所などの関係機関と連携するとともに、移住者などに対する無料職業紹介(地方版ハローワーク)を行い、就職情報の提供、相談に努めます。 ・関係機関と連携を図り、障がい者などの雇用の促進を図ります。 ・市外の情報サービス業者などが都市部に居住せず市内で遠隔地勤務(サテライトオフィス、テレワーク)できる環境づくりを支援することで、市内での就業の創出を促進します ・企業と連携し、仕事と育児などの生活を両立できるワーク・ライフ・バランスの整った労働環境の整備を促進します。 | | |